

遊心さん+JVEC

◇「屋上菜園で親子一緒に野菜づくり&自然ふれあい教室」部会◇

師走に入り、屋上にも冷たい風が流れ込んできます。12月15日は、収穫と収穫パーティです。ビルの日陰で、まだ冷たい屋上に上がりました。白菜を紐で巻く作業の後、ジャガイモ、ダイコン、ブロッコリー、カリフラワー、シュンギク、ミズナ、ウコンを収穫。屋上の狭い菜園ですが、収穫するとなかなかの量です。いよいよ試食会。食育教室「親子キッチン」を主宰する古谷真知子さんにお料理をしていただきました。ダイコンは炒めてステーキに、ブロッコリー・カリフラワー・ミズナは茹で、シュンギクはサラダとなりました。有機肥料で育った野菜たちは味わい深く、香りは程良く、エグミもありません。親子みんなで完食しました。

(伊藤)



ハクサイを紐で縛る



試食会の料理

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇

ブドウの剪定とダイコン試し抜き

今月はまず、ブドウの剪定を行いました。太くよく伸びている枝は1メートルほど残し、反対に短い枝は二節だけ残す方法で切っていきます。切った枝は状態の良いものを選び、30センチほどの長さに揃えて別の木枠に挿し木しました。この木枠を使った栽培のように、土の量が制限される栽培方法は「根域制限栽培」と呼ばれていて、養分が実に回る効果があるとして近年農家の間でも導入が広がっている方法です。続いてミズナとシュンギクを半分ほど収穫しました。ミズナは根元で株を切り分けるようにして、シュンギクは脇芽が伸びるよう中央の茎をハサミで切って、それぞれ収穫していきます。また空いている区画にホウレンソウとコマツナの種を蒔きました。5センチ間隔の点蒔きです。最後にダイコンを一本だけ試し抜きしました。ダイコンも来月には収穫できそうです。

(藤掛)



ブドウの剪定

◇墨田区老人ホーム部会 こまち墨田館◇

原施設長様からのコメント

今回老人ホーム向けのパンフレットを作成することになりました。原施設長様が以下のような嬉しいコメントを寄せてくださいました。

「平成30年6月から屋上で野菜作りがスタートしました。当施設は、自立された高齢者の方が生活されています。どうしてもお部屋に閉じこもりがちになるという課題があるのですが、その課題解決に『野菜作り』は一役かっています。実際に、水やりなどの作業できる方は数名ですが、その作業風景をのんびり見たり、先生方から食堂で『野菜のお話し』の講義をうけたり、収穫できたトマトをおやつに食べたりしています。

入居者様の活動性の維持・向上の為、『野菜作り』を継続してまいります」

◇三井住友海上火災(株)屋上菜園部会◇

冬の菜園風景

今年の4月から三井さんからの要請に基づき、モニター会員3組とJVECで栽培実験をしてきました。夏野菜の後、秋冬野菜を栽培していますが、ハクサイ、ダイコン、ブロッコリー、カリフラワーは収穫期を迎えています。今回の栽培実験のポイントは、肥料を入れた場合と全く入れない場合どの程度の差が出るかを確認するところにあります。現時点でもすでにかなり差が出てきています。2月末には全部の収穫が終わりまますので、その後に比較実験の報告書を作成します。

(阿部・庭野)

◇台東区老人ホーム部会 フレスコ浅草◇

ダイコン収穫

12月27日、今年最後の出勤でした。今日は収穫の日、入居者の皆さんと一緒に作業。ダイコン3本、新玉ねぎ2本、それからミズナとシュンギクを収穫。身体が少し不自由でも入居者の皆さんが頑張ってお手伝いしてくださいました。今夜は鍋料理を予定しているのとこのことで、皆さんが収穫した野菜は今晚早速食べて頂けます。

(阿部・庭野)



立派なダイコンが収穫できました。

☆「屋上菜園物語」もアップされています。